

平成 30 年度 福祉保健活動拠点事業報告書

施設名

横浜市港南区福祉保健活動拠点

事業計画

1 場の提供について

(1)場の提供を通じた関係性の構築・利用団体支援

本会は地域活動者や区内福祉関係者の多くを会員とし、直接活動拠点の利用がない福祉関係者とも連携を取り、本会で取り組む「身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業」により、職員個々が拠点の中にとどまらず、自身の担当地区へ出向き地域活動の支援を行うことに力を入れています。これにより、福祉保健活動拠点で得られる情報に加え、職員が地域に出向いて得た情報を元に本会では様々な事業の展開や関係機関への提供を行い、これまで接点の無かった団体や関係機関を繋げ、単なる交流ではなく団体同士が互いの活動を理解し、それぞれの福祉保健活動が連携するきっかけづくりの場となるような取り組みを行うことができました。

(2)拠点の利用促進に関すること

活動拠点立地等のメリットの再アピールと、本会の持つネットワークによるPR活動の実施活動拠点が港南中央駅至近である点や、プロジェクター・スクリーン等の貸出設備機材が充実している点を強調し、住民向け各種講座や会議の場として利用して頂くよう、本会の会員組織や福祉関係団体へ会議等の場を通してPRしました。

平日	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	189	231	118	60.7%	67.6%	48.4%
多目的研修室	258	316	150	83.2%	90.6%	60.2%
点字製作室	158	205	114	62.3%	70.9%	46.3%
録音室	54	93	7	21.7%	37.3%	2.9%
対面朗読室	168	207	92	68.4%	77.0%	35.2%

土	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	27	30	10	50.0%	56.3%	20.8%
多目的研修室	48	64	1	93.8%	93.8%	2.1%
点字製作室	25	22	7	52.1%	41.7%	14.6%
録音室	3	4	1	6.3%	8.3%	2.1%
対面朗読室	43	27	4	87.5%	54.2%	8.3%

日祝	目標（利用件数）			目標（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	29	24		32.8%	32.8%	
多目的研修室	44	43		65.7%	62.7%	
点字製作室	19	18		28.4%	26.9%	
録音室	0	4		0%	6.0%	
対面朗読室	14	27		20.9%	40.3%	

(3) 拠点のサービスの向上に関すること

- ・より多くの団体にロッカーを利用して頂き、満足度の向上に繋がるようロッカー数を増やしました。
- ・福祉保健活動拠点の登録手続きの際は、利用要件に合致している団体や活動であるか、ヒアリングや会則、パンフレット等の書類によって確認し承認しました。
- ・本会は社会福祉法に定められ地域福祉の推進を役割とする公共性・公益性の高い組織であり、横浜市社協が定めるコンプライアンス行動指針に基づき、住民や団体、関係機関との健全な関係を保ち、誠実かつ公正に職務を執行しました。

(4) 利用調整会議等の開催

年2回、利用調整会議を行い、利用団体から拠点の管理や運営について直接ご意見を頂いてその結果を管理運営に反映させました。また、利用団体同士の交流の場を設けて、互いの活動を把握し気持ちよく拠点を利用して頂けるよう配慮しました。

開催実績	2回
参加団体数	68団体

2 ボランティア業務

(1) ボランティアに関する情報収集、分析、計画立案

- ・ボランティアの発掘と育成を目的に実施するボランティアフェスティバルの開催に協力しました。また、フェスティバル当日に「ボランティア相談コーナー」を出展し、ボランティア活動への参加を呼びかけました。
- ・課題を抱えるボランティア希望者に対し、地域ケアプラザや区役所、基幹相談支援センター等と連携しながらマッチングに努めました。
- ・活動先の開拓については、当ボランティアセンターに登録していない団体にも目を向け、訪問等をして開拓していく必要があると考えます。

(2) ボランティアに関する広報、情報提供

- ・ボランティア依頼情報をホームページや広報誌（年1回 85000部発行）を活用し周知を行いました。
- ・ボランティア活動メニューの発行（年4回 1710部行いました。）
- ・身近な地域での関係構築を目指し、ボランティア依頼をきっかけとして、日頃の見守り・支えあいが地域の中で重層的に行えるよう、地区担当職員、民生委員、福祉ネットワーク担当者、地域ケアプラザ職員、区役所担当ケースワーカー等と連携をしながらコーディネートを行いました。地域だけでは解決が難しい問題については地域だけにとどまらず制度や登録ボランティアを含めたコーディネートも行っています。

(3) ボランティアに関する相談、紹介

登録人数	個人	新規	76
		累計	390
	団体	新規	25
		累計	226
相談件数			124
依頼件数			120
紹介人数			300
調整数			1024

(4) ボランティアに関する育成・支援・講座開催

- 区社協との共催ボランティア講座（計4講座）を開催しました。
手話講座、よこはまシニア大学、あなたもマジシャン、視覚障害者誘導ボランティア入門講座を行いました。
- その他に食品衛生講習会、男のセカンドライフ大学校（区内地域ケアプラザと共催）1歳児親子学級「ありんこクラブ」（日下地域ケアプラザ）を行っています。

3 他の関連組織とのネットワーク

(1)関連組織及び地域との連携

・ボランティアセンターを通して把握した地域の課題に対する解決策を、区社協の地区担当職員や地域ケアプラザ・区役所・基幹相談支援センター、地域住民と検討しました。

(2)地域の福祉保健課題への理解と協力

・ボランティア連絡会において、ボランティア活動への支援を行いました。
・積極的にボランティア団体の活動に赴き、課題について情報共有を行い、互いに助言しながら運営に活かしました。

4 その他

(1)職員体制、育成

常勤職員 1名
非常勤職員 6名（日中2名・夜間4名）

5 施設の適正な管理・運営について

ア 施設の維持管理について

<開館時間>

平日・土曜（祝祭日を除く） 9：00～21：00
日・祝祭日 9：00～17：00

休館日 年末年始（12月29日～1月3日）
施設点検日など

<建物・設備の保守点検、小破修繕>

【空調機器関係保守業務】

GHP 室外機点検・GHP 室内機点検・GHP 室内機フィルタ清掃・全熱交換機点検・全熱交換機フィルタ清掃
複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

【給排水設備関係保守業務】

加圧給水ポンプ（ブースターポンプ点検）
複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

【害虫防除業務】

害虫防除
複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

【消防用設備点検業務】

消防用設備・機器
複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

<清掃業務について>

【長尺塩ビシート部】

床面除塵・洗剤塗布・ポリッシャー洗浄・汚水バキューム・モップ拭き・ワックス塗布・机拭き上げ

【タイルカーペット部】

床面除塵・洗剤塗布（ポリッシャー）・汚水バキューム・モップ拭き

【ガラス部】

洗浄水塗布・水除去（ウィンドスクイジー）・拭き取り

【トイレ部】

除塵・便器清掃・壁面清掃・拭き上げ・ごみ処理

<警備業務について>

防犯サービス・火災監視サービス・非常通報サービス
複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

イ 苦情受付体制について

拠点内ご意見箱の設置、窓口満足度調査の実施（年1回）
拠点利用調整会議にて窓口満足度調査の結果を報告

ウ 緊急時（災害・事件・事故等）の体制及び対応について

マニュアル整備済み

【防火管理組織】

防火管理者・防火責任者・火元責任者（事務室・福祉保健活動拠点）

【自衛消防組織】

体調・副隊長・通報連絡班・初期消火班・避難誘導班・応急援護班

災害時は周辺5施設で連携の上、館内利用者の避難にあたる。
（年2回防災訓練を実施）

エ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報取扱マニュアルの設置
職員会議において伝達研修実施

オ 環境への配慮及び取組について

横浜市ゴミゼロルート回収に基づく分別
エネルギー管理標準に基づく温度管理

平成30年度 横浜市港南区福祉保健活動拠点 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,823,000	337,052	17,160,052	17,160,052	0	横浜市より
事業収入			0	0	0	
雑入	441,000	0	441,000	300,527	140,473	
印刷代	300,000		300,000	268,320	31,680	
自動販売機手数料	120,000		120,000		120,000	
その他(負担金・ごみ回収)	21,000		21,000	32,207	11,207	
収入合計	17,264,000	337,052	17,601,052	17,460,579	140,473	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,194,000	0	10,194,000	10,034,451	159,549	
給与・賃金	9,303,000		9,303,000	8,668,669	634,331	
社会保険料	316,000		316,000	541,630	225,630	
通勤手当	559,000		559,000	547,141	11,859	
健康診断費	16,000		16,000	6,000	10,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0	6,000	6,000	
退職給付引当金繰入額	0		0	265,011	265,011	
事務費	1,541,000	0	1,541,000	1,795,956	254,956	
旅費			0	0	0	
消耗品費	475,000		475,000	431,174	43,826	
会議随時費	62,000		62,000	0	62,000	
印刷製本費	0		0	186,961	186,961	
通信費	109,000		109,000	483,217	374,217	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	270,000		270,000	231,768	38,232	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	7,610	2,390	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料	62,000		62,000	36,716	25,284	
リース料	553,000		553,000	386,440	166,560	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	750	750	
その他()			0	31,320	31,320	
事業費	946,000	0	946,000	745,276	200,724	
事業費	946,000		946,000	745,276	200,724	
管理費	3,832,000	337,052	4,169,052	4,366,884	197,832	
光熱水費	1,938,000	0	1,938,000	1,948,390	10,390	
電気料金	714,000		714,000	853,607	139,607	
ガス料金	459,000		459,000	428,290	30,710	
水道料金	765,000		765,000	666,493	98,507	
清掃費	999,000		999,000	998,892	108	
修繕費	150,000	337,052	487,052	518,696	31,644	
機械警備費	82,000		82,000	81,570	430	
設備保全費	577,000	0	577,000	819,336	242,336	
空調衛生設備保守	166,000		166,000	56,700	109,300	
消防設備保守	27,000		27,000	28,730	1,730	
電気設備保守	105,000		105,000	104,852	148	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	0	30,000	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	249,000		249,000	629,054	380,054	
共益費			0	0	0	
その他()	86,000		86,000	0	86,000	
公租公課	630,000	0	630,000	674,700	44,700	
事業所税			0	0	0	
消費税	630,000		630,000	674,700	44,700	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
支出合計	17,143,000	337,052	17,480,052	17,617,267	137,215	
差引	121,000	0	121,000	156,688	277,688	